

施策名	目標1－4 京都メカニズム等を活用した海外における地球温暖化対策の推進						
施策の概要	我が国における京都メカニズム（CDM・JI・排出量取引）活用のための体勢整備を進めるとともに、事業者等の各主体の京都メカニズムへの関心や理解を深め、京都メカニズムの活用のための我が国の取組を加速させることにより、国内排出量削減対策及び吸収源対策に最大限努力してもなお京都議定書の約束達成に不足する差分（基準年総排出量比1.6%）に相当するクレジットを獲得する。また、二国間メカニズムの構築に向けた取組を進める。						
達成すべき目標	平成25年度までに我が国のクレジット取得量（CO2換算トン）の累積量を約1億取得する。						
施策の予算額・執行額等	区分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額
	予算の状況 （百万円）	当初予算(a)	－	－	23,037	12,091	7,818
		補正予算(b)	－	－	0	0	
		繰り越し等(c)	－	－	4,057	1,275	
		合計(a+b+c)	－	－	27,094	13,366	7,818
	執行額(百万円)		－	－	26,367		
施策に関係する内閣の重要政策（施政方針演説等のうち主なもの）	施政方針演説等の名称			年月日		関係部分（抜粋）	
	京都議定書目標達成計画			平成20年3月28日			

測定指標	1 クレジット取得量(CO2換算トン)	基準値	実績値					目標値
		年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	25年度
		—	588.4万 (※契約量)	約1,540.4万 (※契約量)	約3,103.5万 (※契約量)	約4,150.0万 (※契約量)	約400.0万 (※契約量)	(18年度から25年度までの累積量)約1億
		年度ごとの目標値						

施策に関する評価結果	目標の達成状況	平成22年度は約400万トン(二酸化炭素換算)のクレジット取得契約を締結した。
	目標期間終了時点の総括	2013年(平成25年)度までに約1億トンCO2分の京都メカニズムクレジットを取得するため、平成23年度も2013年(平成25年)度を終期とする国庫債務負担行為及び当該年度の必要額を引き続き計上し、リスクを低減しつつ、費用対効果を考慮したクレジット取得を実施していく。また、国別登録簿の適切な管理、運営を実施する。

学識経験を有する者の知見の活用	
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	
---------------------------	--

担当部局名	市場メカニズム室	作成責任者名	市場メカニズム室長 上田 康治	政策評価実施時期	平成23年 6月
-------	----------	--------	--------------------	----------	-------------